



Try! up!

Vol. 23 [2016年12月20日発行]

平成29年 2月19日(日)

第106回 看護師国家試験 が行われます。



本校主催「看護師国家試験 専門領域別対策講座」を実施しました

絶対合格!!

今年度後期の国家試験対策講座が12月13日～15日に行われました。各専門領域の教員が出題傾向を分析し、正解答を導くための必要な知識を1冊の資料としてまとめ、国家試験当日まで活用できるよう準備しました。この手づくりの資料を使いながら、要点をおさえた講義をしています。

各日100名前後が参加し、受験まで残り2ヶ月となった勉強時間を惜しむように必死にメモをとりながら聞き、教員の説明にうなずきを見せていました。

積極的な質問や仲間達と一緒に勉強し合う姿に頼もしさや成長を感じました。受験生全員の合格を祈願しています。



国家試験対策
虎の巻 其の二十四
特別編

実力を確実にしましょう

国家試験対策担当
倉林 恵子 先生

2年生の皆さん、第106回看護師国家試験まであと2ヶ月です。一日一日が貴重な時間です。焦らず、やるだけやります。そして、本番で自分の力を出し切ることが何よりも大切です。

さて、第2回看護師国家試験模擬試験の結果は活用していますか？
第3回看護師国家試験模擬試験は合格圏に突入して、国家試験本番に臨みましょう。



勉強の留意点

- ◆ 過去問は単に解いて正誤を確認することを繰り返していると、「問題の出し方が変わると答えられない」ということになります。間違った選択肢の解説もしっかり読み、周辺の内容を理解しておくことが大事です。
- ◆ 5肢問題が大幅に増加しています。解答に迷わないように確実な知識が求められています。
- ◆ 一般問題に、「Aさん」が出てくる設定文付き問題が多くなって、アセスメント力が問われています。
- ◆ 解剖生理学は、まず図を自分で描いて理解しましょう。
- ◆ 検査基準値の暗記は必須です。
- ◆ 健康支援と社会保障制度は、基本内容を頭に入れておきましょう。
- ◆ 計算問題は苦手意識をもたないでマスターしておきましょう。

国家試験 本番の留意点

- ◆ 模擬試験で訓練したように、
 必修・一般問題⇒1問約1分
 状況設定問題 ⇒1事例約6分 で解答しなければなりません。
 問題文を読んだり、マークシートに記入したりする時間も含まれます。解けない問題に引っかかり、そこで手が止まってしまうと、最後の問題まで目を通さないうちに終了時間になるという最悪の事態にもなりかねません。
- ◆ 解答の絞りにくい問題は、その時点で「最も適切である」と考えた解答を、とりあえずマークシートに記入してから次に進みます。そして、問題文の横にしるをつけておき、後から見直すようにしましょう。

厚生労働省からの通知

- ◆ 受験票の送付について
1月中旬に地方厚生局から学校に送付されます(その後学校から受験生に送付します)。
- ◆ 試験実施についての留意事項
 - ①試験当日の持ち物
 - ・HBの鉛筆(シャープペンシル不可)
 - ・プラスチック消しゴム ・黒のボールペン
 - ・鉛筆削り ・マスク(無地のもの) ・昼食
 なお、試験中に机の上に置くことができるのは、筆記用具(HBの鉛筆、プラスチック消しゴム及び定規)、受験票及び特別に許可された物のみとする。
 - ②時計については、電卓、通信又はメモ等の機能があるものの使用は認めない。
 - ③試験場へは公共交通機関を利用し、自家用車等での来場は厳に慎むこと。
 - ④災害等によって国家試験の時間等に変更が生じた場合は、厚生労働省ホームページに掲載するので、注意すること。

《参考》 昨年の集合・解散時間
 集合時刻… 9:00 (入場開始予定時刻…8:00)
 解散予定時刻…17:10頃

健康管理をし、万全の体調で臨みましょう。

小児看護学

「健やかな成長・発達と
自律性・善行・正義・誠実・忠誠を
ふまえる小児看護」

佐々木 真由美 先生



小児は、どんな時も成長・発達しつつあるので、病気になってもその時期に発達すべき課題が達成できるように援助をします。

また、子どもへのケアでは、**自律性**(病状や治療方針を知る・治療の選択や決定を行う・プライバシーを守る・自己決定)、**善行**(相手にとって最良の行い)、**正義**(公平・公正)、**誠実**(嘘を言わないこと)、**忠誠**(約束を守ること)が重要です。

小児が病気に罹ると、家族・本人が大混乱します。看護者の役割は、病気を持つ子どもの生命をまもり、困難な状態を改善することです。具体的には、病気の知識をもち、看護援助を提供しながら、治療が円滑に進むように、家族・小児にわかるように説明し納得してもらうことです。この役割を遂行することは、小児看護のやりがいとなります。

また、より複雑で解決困難な看護問題を持つ患児・家族や集団に対して、水準の高い看護ケアを効率よく提供することも求められてきています。

これらのことをふまえ、本校の通信授業、紙上事例1・2・3、面接授業、見学実習で、教科書やDVD、教材を使い、対象をイメージしながら、小児看護学を学んでいきましょう。

母性看護学

「母性看護学を
楽しく学びましょう」

中里 佐智代 先生



「先生、母性看護学は苦手で・・・結婚していないし、子どもがないし・・・」と学生が言います。

私は、「**看護師になるために母性看護学という学問を学ぶのですよ**」と返答します。

このようなやり取りを、入学して間もない学生と毎年のようにします。母性看護を学ぶために出産や子育ての経験は関係ありません。「学ぶ」こと自体が尊い経験だからです。私は、母性看護学をひた向きに学ぶ先にある確かな手ごたえを、学生自身の手でつかみ取ってほしいと思っています。

さて、母性看護の対象は、あらゆるライフサイクルにある母子とその家族です。実習では、マタニティサイクル(妊娠・分娩・産褥・新生児)の看護をより深く学びます。ご存知のようにほとんどの対象は健康な人々です。健康な人々がより健康に生活するためにはどのような支援が必要でしょうか。また、相手のライフスタイルや価値観、意思を尊重し、相手の経験を主体的で満足のある経験にするためにはどのように関わればよいのでしょうか。少子化や生命倫理、子育ての困難さ等、現代に抱える母性看護学の課題についてはどのように考えますか。皆さんと一緒に学習をしたいと思います。

きっと、皆さんの豊かなキャリアにも科学的な意味付けができることでしょう。私と一緒に楽しく母性看護学を学びましょう。

REPORT...

東北福祉看護学校
行事報告

通信授業のレポート課題学習会を開催！

本校の学習支援の一環として、今年度は通信授業として実施しているレポート課題の学習会を開催しました。対象科目は、1月に単位認定試験を行う7科目(成人看護方法、老年看護方法、小児看護方法、母性看護方法、在宅看護方法論、看護管理、災害看護)です。なるべく多くの学生に出席してもらえよう、12月後半に2つの日程で計画し、約35名の参加がありました。

この学習会では、自宅でテキストを読みながら学習したレポート課題の内容を中心に教員が分かりやすく説明し、学生からの質問にも対応していきましました。今後の紙上事例演習に結びつく必要な知識の学習にもなり、好評でした。1年生を対象に次年度も計画する予定です。自分の苦手な部分を理解できるように是非活用してください。



学生通信

自分のペースを大事にして

松本 知佐子 さん (東京都・病院勤務・30代)



東京都在住の私が、通信制の本校に入学し学び始めてからもうすぐ1年が経とうとしています。面接授業などの際、「遠くから通うのは大変なのでは」と思われがちですが、ひとたび仙台行きの新幹線に乗ってしまえば意外とあっという間。車内でテキストを読んだり睡眠をとったりしているうちに着いてしまいます。今ではこの道のりにすっかり慣れました。

振り返ると、1年次はレポート課題の提出やテストに追われた怒涛の毎日でした。忙しい中でも、提出物を確実に期限内に提出できるよう、指定された締切日の約1週間前を「自分の提出締切日」に設定し、

大まかなスケジュールを組んで学習を進めるように心がけました。周りの人の進捗が早いと焦ることがしばしばありますが、あくまで「自分のペース」を意識して取り組んできました。職場から学習時間を確保できるようサポートしてもらえたこともあり、計画的にここまで学習を進めることができたと思います。

こうして学びを深めることによって、自分自身の物事の捉え方が以前と変わったと感じる事が増えてきました。これまで何気なく行ってきた事に対して「なぜそれをするのか?」と、意味を考えるようになったのです。長年の業務で重ねてきた「経験の点」と新たに取入れた「知識の点」がつながり「線」となって、物事を広い視点で考えられるようになりました。

いよいよ来年は2年次。今からしっかりと国家試験の準備を整えるとともに、看護師として働く自分を想像しながら、この「線」1本1本を増やし成長していきたいと思っています。

実習先のホンキ

13

2年間の学びの中でも重要な位置を占める「見学実習」。限られた時間の中で、どれだけ多くのことを吸収できるか、そして日々の学習にどう結びつけていくかが問われる教育内容である。ここでは、学生に充実した学びを与えてくださった「黒川産婦人科医院」の実習受け入れに対する体制や考え方を紹介したい。

WHO／ユニセフよりBaby Friendly Hospital (BFH)『赤ちゃんにやさしい病院』に認定され、未永くいつでも相談できる場所として地域から信頼されている「黒川産婦人科医院」。看護師、助産師を目指す多くの実習生を受け入れている当院の実習に対する考え方、学生に何を学んでほしいと期待しているのかお話を伺った。

「**当**院は、あらゆる場面において『指導』ではなく『支援』する立場で対象と関わることを大切にしています。これは母性看護学の基本でもあり、当院のスタッフはその姿勢がしっかりと身に付いています。また、産科看護師として幅広い業務をこなしていくために、自己研鑽を積んでいるスタッフの姿から、何か一つでも気づきを得て自身の目標達成のために少しでもプラスになれば嬉しいですよ」と、菅原加代子看護師長は語る。実習指導者の大久保美希さんは、「これまで何となく行ってきたことに対し、根拠を持って言語化できるようになることが大切。実習中は『なぜ今このケアをしたのか?』を問いかね、学生自身に考えてもらうようにしています」と、ただ一方的に教えるだけではない、学生に寄り添いながら気づきのチャンスを与えてくれる実習環境が、より深い学びにつながっているのだと確信する。

黒川産婦人科医院では、妊娠・分娩・産褥期のサポートはもちろんだが、退院後も継続して“赤ちゃん同窓会”や“育児支援サークル”など母親にとって心強いサポートを提供。「地域と連携しながら、より長期間に渡ってその人を支えることができるのもクリニックの良さですね」という菅原看護師長は、自らも現場を駆け回りながら、地域においてクリニックが果たす役割の大きさを感じている。

最後に、「働きながら学習意欲を維持しここまで頑張ってきたのですから、あと少し!自信を持って突っ走ってほしいと思います。そして、それぞれの場所で主軸となって活躍されることを祈っています」と、お二人から学生へ自信につながる温かいエールをいただいた。



菅原 加代子 大久保 美希
看護師長 実習指導者

医療法人

黒川産婦人科医院

母性実習から学んだ 患者さんとの関わり



稲部 美由希 さん
(岩手県・40代・クリニック勤務)

黒川産婦人科医院では、母性看護学の見学実習をさせていただきました。母性看護学は、他の領域とは異なる特有の看護があり苦手意識を持っていたことに加えて、産前産後のデリケートな母親と赤ちゃんの両方を見ていく必要があるため、実習前はとても不安でした。しかし、ざら始めてみるとあっという間の2日間。多くの気づきと学びを得ることができました。

私は母乳ケアを中心に見学をさせていただきましたが、産後の母親へ寄り添い、個々に合わせてサポートする姿勢やポジティブな視点での声かけは、まさに母性の領域特有のアプローチでした。これまで難しいと感じていた部分の理解が深まり、その後の学習が取り組みやすくなったように思います。

実習2日目には、5件の分娩が重なる出来事がありましたが、スタッフの方々は動じることなく、限られた設備環境の中でスムーズに対応されていました。さらにそんな状況下でも外来や入院中の妊産婦さんに対して丁寧に関わっている姿からは、看護師としての看護の質の高さを感じ、とても刺激になりました。

私もクリニックに勤務していますが、患者さんの多くは高齢者です。しかし実習での経験から、年代は違えども対象への関わり方は同じなのかもしれないと考えようになりました。病気だけを診るのではなく、患者さんの背景を知り、何を求めているのか、その後の人生までも考えることが、より良い看護につながり患者さんに安心感を与えることができるのかもしれません。この実習から気づき学んだ多くのことを現在の勤務先である地域密着型のクリニックで存分に発揮していきたいと思っています。

医療法人 黒川産婦人科医院

岩手県盛岡市愛宕町2-51



2002年に東北で初めて、WHO／ユニセフよりBaby Friendly Hospital (BFH)『赤ちゃんにやさしい病院』として認定。「産む力、育てる力を十分に引き出す」「すべての世代の女性が健康で暮らせるようにサポートする」をテーマに掲げ、未永くいつでも相談できる場所であることを目指し、地域の女性たちを温かく支援している。

学校からの お知らせ掲示板

● 年末年始休校のお知らせ

本校は、12月28日(水)から2017年1月4日(水)までお休みをいただいております。この期間は電話も繋がらないことをご了承ください。
1月5日(木)より通常の業務開始となります。

◆本校への入学相談につきましては、Eメールでの問い合わせをお願いします。後日、折り返し電話にてご連絡差上げます。
【進学相談専用メールアドレス】 tfns_sodan@tfu-ac.net
【進学相談専用ダイヤル】 022-292-2662

● 「紙上事例演習学習会」の予定

本校では、専任教員による学習支援を開催しており、3月5日(日)と3月6日(月)は本校で「紙上事例演習学習会」を行います。是非この機会を有効に活用してください。

開催日	時間	領域	担当教員
3月5日(日)	10:30～12:00	成人看護学	青砥
	12:45～14:15	老年看護学	白井
	14:30～16:00	小児看護学	佐々木
3月6日(月)	10:30～12:00	在宅看護論	月原
	12:45～14:15	母性看護学	中里
	14:30～16:00	看護の統合	大場・山田

● 東北福祉看護学校公開講座 「看護職のためのトライアップ研修 第2期」のお知らせ

高齢化が進む現代、看護職は病院だけではなく医療ニーズの高い介護施設などでもその力を求められています。また、知識の幅を広げ、新たな自分の看護師像を求める看護師も少なくありません。
東北福祉看護学校では、卒業生はもとより地域で活躍する看護職のために、より実践力を身につけ現場対応力を高める「学びの場」として、公開講座を開催いたします。

1月18日(水)	「クレーム対応力を身につけよう」 福祉心理研究会 代表 有限会社キャリアコム 代表取締役 黒田敬子先生
2月11日(土・祝)	「施設で「看取る」ということ」 元 仙台ロイヤルケアセンター 看護部長 榊まきこ先生
3月14日(火)	「悩みを解決するためのコミュニケーションスキルを学ぶ」 彦根市立病院緩和ケア科部長 緩和ケア医・心療内科医 黒丸尊治先生
3月26日(日)	「看護職が施設で働くということ」 仙台養生園ユニットケア施設群 グループホーム 薬庵 管理者 小関ゆみ先生

● オープンキャンパス・学校説明会のお知らせ

平成29年度入学生向けのオープンキャンパス・学校説明会を本校で開催します。入学をお考えの方は是非ご参加ください。

オープンキャンパス	学校説明会	*要予約*
1月11日(水) 11:00～16:30 ※詳細は、本校Webサイトをご覧ください。	1月29日(日) 14:00 2月15日(水) 16:00	参加無料 参加特典あり

スケジュール

1年生【学籍番号が“16”で始まる学生】

教育課程

①「精神看護学」紙上事例演習3の提出

提出日…2017年1月6日(金) 必着
*紙上事例演習2の再提出は対象の方のみです。

②後期単位認定試験

1月7日(土)
科目:成人看護方法・老年看護方法
小児看護方法・母性看護方法

1月8日(日)
科目:在宅看護方法論、看護管理、災害看護
*後期単位認定再試験日は2月7日(火)・2月8日(水)となります。

③「精神看護学」見学実習後面接授業

●D日程…2月3日(金)・4日(土)
●E日程…2月12日(日)・13日(月)
●F日程…2月18日(土)・19日(日)
会場:東北福祉大学 仙台駅東口キャンパス
*病院見学実習についてグループワークがありますので、宿題を忘れずに持参してください。

2年生【学籍番号が“16以外”で始まる学生】

国家試験対策

①第3回 看護師国家試験模擬試験 (主催:東京アカデミー)

【東京アカデミー 仙台校】
●A日程:1月9日(月・祝)
●B日程:1月10日(火) のいずれか

【東京アカデミー 青森校・秋田校・東京校】

●日程:1月8日(日)

②最終兵器講座 (主催:さわ研究所)

日程:1月13日(金)・14日(土)
会場:東北福祉大学 仙台駅東口キャンパス

③看護師国家試験対策講座 (主催:本校)

*合格圏にもう一歩の方のための講座です。
日程:1月24日(火) 10:00～17:00(基礎・成人)
1月25日(水) 9:00～16:00(老年・小児・精神)
1月26日(木) 9:00～16:00(母性・在宅・統合)
会場:東北福祉大学 仙台駅東口キャンパス

その他

●卒業ガイダンス・卒業式

卒業ガイダンス:3月15日(水)
卒業式:3月16日(木)
会場:本校(東北福祉大学 仙台駅東口キャンパス)
*詳細については後日お送りするご案内をご覧ください。

